

話題の講義ライブ
LIVE 2012

Today's Program **メディア社会学専門ゼミ 1**

MUSASHI UNIVERSITY 武蔵大学



社会学部 メディア社会学科

5.24.Thu. at Ekoda
10:40~12:10
粉川 一郎 教授



ネット検索1位になった話題の言葉 源流を探って見えてきた真実とは？

講義の流れ
醍醐味
課題を設定し、適切な研究方法を探る。半期ごとに二つのテーマに取り組みケースと、通年で一つのテーマに取り組みケースがある。最もホットなトピックをゼミ内で決定し、研究に取り組み。さまざまな調査方法にチャレンジし、課題設定から報告書作成までをゼミメンバーでできるように内容が組まれている。

旬のテーマを設定し チームを進めよう

少人数教育を重視する武蔵大。新入生は入学後すぐにそれぞれのゼミに所属する。資料収集、討論、レポート作成、プレゼンテーション、調査、フィールドワークといった「学びの基本」を2年間かけてじっくり身につけるといふ。

その上で3年次は卒業論文・卒業制作を視野に入れ、個人あるいはグループで互いの研究から学び合い、研究を深めていくのが目的だ。では、メディア社会学科のゼミを覗いてみよう。

「テーマは4月に学生同士がブレインストーミングをして決めます。今年

年のテーマは「ステマ」です」と話すのは粉川一郎先生。

「ステマ」とはステルスマーケティングの略で、消費者に気づかれぬように宣伝行為を行うことである。「ステマ」は2011年1月4日にグーグルの検索ワードでいきなり1位になった。しかし、言葉自体はそれ以前から存在していたはず。なぜ急に注目されるようになったのか？

「昔では飲食店を紹介するサイトのやらせ行為が発覚が原因と言われていますが、本当にそれだけなのでしょうか？」

社会学は常識を疑うところから始まる。

類似概念としての 「サクラ」「やらせ」

研究の流れは、まず新聞、雑誌、ネットのニュースサイトなどを利用して「ステマ」が一般化する様子を探る第一期、次にネットの書き込み等を専用ソフトなどを使い詳細に分析する第二期、そして既存の研究や理論と対比をしながら報告書をまとめていく第三期に分かれる。現在は第一期の終わりの時期。

ゼミメンバーは15名。4つの班に分かれて役割分担をしながら進めている。ゼミ長の仕切りのもと、まずは「歴史班」の報告から。といっても、ステルスマーケティングの歴史は浅いので、類似概念の歴史も調べた。

古くは「サクラ」に始まる類似概念の歴史。決して特殊なものではなくテレビの「やらせ」なども含まれる。しかし、この現象を指し示す言葉はめまぐるしく変化し、ロコマイケティングや「感染的」という意味のバイラルマーケティングなどさまざまな言葉が生み出されてきた。

では、肝心のステルスマーケティングはどうか。「2004年に、ある企業

が、会社のパソコンを通じて自社製品を褒賞したり、他社製品を貶すという行為が話題になっていきます。ただ、ステルスマーケティングという言葉はまだ結びついていません」と発表者。また、2011年の夏頃から某テレビ局の不自然な韓流押しなどを批判する言葉として「ステマ」が頻繁に使われるようになったとも。

続いての報告は、メディアへの露出を調べる「露出班」。新聞や雑誌にいつ、どのように取り上げられたかを表とグラフにまとめた。と、ここで粉川先生より指摘が。「ステマ」の流行の過程を読み手に明確に伝えるためには、シンプルなグラフが必要。持っている情報を詰め込んで「サクラ」

検索方法も含め、グラフ作りをやり直すことになった。



VOICES 学生の声 of University Students



石井 遼平さん (左)
社会学部 メディア社会学科3年
粉川先生は学生の自主性を尊重しつつも「ここぞ」という場面では的確なアドバイスをくださるので、とても頼りになります。武蔵大はキャンパス内に小川が流れ、緑あふれる環境がいいですね。将来は出版社に就職し、「ハリーポッター」シリーズのような世界的な大ヒット作を手がけることが目標です。

竹貫 巴さん (右)
社会学部 メディア社会学科3年
ネットに興味があり、粉川ゼミを選びました。探していた情報にヒットしたり、新しい発見をしたときの喜びは格別です。武蔵大はアットホームな雰囲気、学科内はほぼ全員が顔見知りと言ってもいいほど。1年次からゼミがあり、先生やゼミ生ともすぐに親しくなれたり、基礎的なメソッドを教えてもらえるのも魅力です。



ネットユーザー間では騒動の半年前から使用

後半はグーグル検索ワード1位になった過程をみていく。まずは、1位になった前後の状況把握。次に、「ステルスマーケティング」が「ステマ」に変化したかを探っていく。「私たちは、2011年6月8日付で2ちゃんねるの「ゲハ板」に次のようなスレッドを見つけた」

「スレ」一覧を見ると、ステマ要因大集合だな」「ゲハ板」とはメーカーごとに派閥を作り、ゲームハードについて論争する場。ここで「ステルスマーケティング」から「ステマ」へ

の変化が起った可能性が高いという。

「ではこの時期に変化が起ったと仮定して、他のスレッドやSNSにこの表現が伝播したかを調べていきたいと思います。新聞やテレビを騒がせた「ステマ」の発端が「ゲハ板」だったとしたらとてもおもしろい」と粉川先生。一般的な見解に感わされず、起っている事実を冷静に読み解く。それが社会学の醍醐味だ。次回からはゼミ生全員で「ステマ」拡散の過程にデータをもとに迫っていく。

武蔵大学

資料の請求および
お問い合わせ先

URL <http://www.musashi.ac.jp/> モバイル <http://www.musashi.ac.jp/k/>
e-mail nyushi@musashi.ac.jp TEL:03-5984-3715 FAX:03-5984-3874
〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1 武蔵大学入試課

経済学部
人文学部
社会学部

〔沿革・歴史〕

1922(大正11)年に創設された、わが国初の旧制七年制高等学校である武蔵高等学校を前身とし、学制改革により1949(昭和24)年に新制大学として誕生。経済学部の単科大学として出発し、現在では3学部8学科の文系総合大学として、ゼミ教育に重きを置いた伝統の少人数教育のもと、優秀な人材を輩出している。

〔オープンキャンパス情報〕

6月17日(日)、7月22日(日)、8月11日(土)、8月12日(日)
※すべて10:00~16:00(予定)
☆一般入試対策講座☆
11月18日(日) 10:30~14:30(予定)
＜全日程とも予約不要・入場無料・入退場自由＞



江古田キャンパス



こがわ いちろう
粉川 一郎先生

1971年生まれ。筑波大学大学院修士課程環境科学研究科修了。専門は、ソーシャルメディア、NPO及び行政評価、行政と市民のパートナーシップ。2000年~2012年(特活)コミュニケーションシンクタンク「評価みえ」代表理事、理事を歴任。神奈川県、埼玉県、千葉県、足立区、藤沢市等で委員、事業アドバイザー等多数。著書に「社会を変えるNPO評価」(北樹出版)など。